

令和6年度

「学校だより」

校訓「善行・勤勉・体育」



学校教育目標

- ・思いやる心をもつ子
- ・よく考え工夫する子
- ・元気でたくましい子

『みんなが輝く善誘館』

No.5 令和6年6月14日 甲府市立善誘館小学校 校長室

校庭いっぱい



からっと晴れ渡った青空の下
ゼンユウタイム（ロング休み）に
たくさん子どもたちや先生たちが
校庭いっぱい飛び出しています



■(^^♪ 「グッとパーで わかれましょっ！」
黄色い帽子の1年生も交え、いろんな学年の子どもたちが一緒に遊ぶ善誘館小学校の校庭。
1つのサッカーボールを追いかける子どもたち、
校庭いっぱいにおにごっこをする子どもたち、

遊具と一緒に遊ぶ子どもたち… etc.同じ遊びをした子どもたちが自然に集まり思い思いに休み時間を楽しんでいます。ゼンユウタイムは本校の魅力の一つでもあり、25分間たっぷり遊ぶことができます。子どもたちが自分の好きなことを存分にして





遊ぶ、心が開放されるのはもちろんですが、遊びの中で様々ことに気づいたり学んだりすることも多くあると思います。その時間

を確保することができるのがゼンユウタイム。これからも、大切にしていきたいと思います。

そして、～♪チャイム♪～

存分に遊んだ子どもたちはチャイムが鳴ると、すうっ～と校舎の中に、教室の中に。切り替え上手の子どもたちです。



拍手!!!です



優しさのカタチ

■6月6日(木)、5年生を対象とした人権移動教室が行われました。

国連 NGO 横浜国際人権センター会長の杉藤旬亮様を講師に迎え、人権って何?の問いから授業がスタートしました。聞いたことはある・なんとなくわかる…と子どもたち。ご自身の体験談や



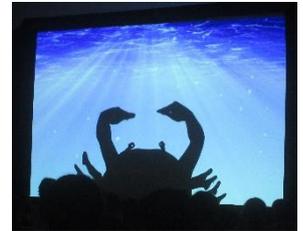
DVD 視聴等を通して分かりやすく話をしてくださいました。「人権とは、一人一人の命と幸せを守るためにみんなが持っている権利のこと」そして、この「命」と「幸せ」という共通の願いを叶えるために『ぜひ、自分事として捉え優しさをカタチとしてあらわしてほしい!』という多くのご示唆と、優しくも力強いメッセージをいただきました。まもなく90歳になられるという杉藤様、横浜から3時間近くかけてご来校いただきました。

貴重なお話、ありがとうございました。



『BIG TREE』が語る地球の未来

■6月11日(火)、演劇教室がありました。甲府市内の小学校で行われており68回目となります。今年、劇団影法師による人間影絵『BIG TREE』の公演でした。落雷により突如、木から現れた妖精たちが様々な生き物と出会い、地球上の命について学んでいく物語。



体すべてがスクリーンに映し出される迫力と、時に妖精たちがスクリーンから飛び出して会場の子もたちを巻き込みながらコミカルにテンポよく展開する心地よさ、自然の神秘を表現した映像やすばらしい音楽、そして、自然・生命・地球・未来といったテーマなど…、目で見て、耳で聴いて、心で感じながらの観劇となりました。



上演の後は、みんなでワークショップ。

カニやウサギなど影絵の作り方をわかりやすく教えてもらい、床に映る自分の影で確認し

ながら楽しみました。

また、代表児童がスクリーンに入って人間影絵にもチャレンジしました。

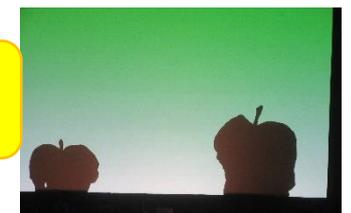
友だちと合わせるのが難しかったです。



人が作って映し出しているとは思えませんでした。



舞台の裏を見てみたかったです。



影法師のスタッフの皆様ステキな公演ありがとうございました。